九州地区

令和5年度

橋梁技術発表会 及び 関門大橋開通50周年記念 講演会



参加費 無料　定員 250名　申込 先着順

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部 技術発表	13:30～13:40	開会の辞　（一社）日本橋梁建設協会　副会長　川上　剛司
	13:40～14:20	1 ケン・ブリッちくんと行く保全工事の世界 ～難条件を種々の工夫で乗り越えろ!～　保全委員会
	14:20～14:30	休　憩
	14:30～15:10	2 鋼橋の陸上輸送 ～橋を安全に輸送するための留意点～　製作小委員会
	15:10～15:20	休　憩
第2部 特別講演	15:20～15:50	九州の道路に関する最近の話題について　国土交通省　九州地方整備局　道路部　道路調査官　新保　二郎
	15:50～16:50	関門橋の建設と50年後の今　西日本高速道路株式会社　技術本部　技術環境部　構造技術課　課長　安里　俊則
	16:50～17:00	閉会の辞　橋梁技術発表会　実行委員会　委員長　生駒　元





日時　令和5年 11月17日(金) 13:30～17:00

会場　レソラNTT 夢天神ホール5F
福岡市中央区天神2-5-55

申し込み　Webサイト https://www.jasbc.or.jp/
受付は令和5年10月17日～11月7日
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先　一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒810-0001福岡市中央区天神3丁目2番20号
（名村ビル4階）㈱名村造船所内
TEL.092-732-0101

継続教育　CPDS対象

開催地区
- 東京地区：10月13日(金)
- 大阪地区：10月20日(金)
- 北海道地区：10月27日(金)
- 中部地区：11月10日(金)
- 九州地区：11月17日(金)
- 東北地区：12月 4日(月)

（6地区開催ですが、発表テーマは異なります）

資料配布　会場では配布いたしません。必要に応じてWebサイトより出力し持参願います。

【アクセス】



- 西鉄福岡（天神）駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

主催：一般社団法人 日本橋梁建設協会 Japan Bridge Association　https://www.jasbc.or.jp/

後援：（公社）土木学会西部支部
（一社）九州橋梁・構造工学研究会
（一社）建設コンサルタンツ協会 九州支部

九州地区　技術発表会概要

1 ケン・ブリッちくんと行く保全工事の世界

既に存在する構造物を対象とする補修・補強工事は、設計においても施工においても新設にはない種々の制約を受けることとなります。主なものとしては、対象構造物のインフラとしての機能を阻害しないための施工時間的な制約、対象構造物の構造および隣接構造物などによる施工スペース、空間的な制約、既設構造物の誤差や供用後の変形なども考慮する必要があるといった設計・製作的な制約などがあげられます。

今回は、これらの制約が多く設計・施工的に非常に難条件であったものの、種々の工夫により無事施工した保全工事事例を、ケン・ブリッちくん※の見学とあわせて紹介したいと思います。

※ケン・ブリッちくん：特別広報委員として活動している橋建協のマスコットキャラクターです。

2 鋼橋の陸上輸送

輸送マニュアルは、発刊からこれまでの間、設計者や輸送に係わる技術者の方々に活用されてきましたが、平成20年の改訂版発刊以降、特に陸上輸送に関する法令の改正や規制の緩和がなされ、輸送マニュアルの改訂が必要となり、今回、鋼橋を主とした輸送の手引きとして全面改訂いたしました。鋼橋製作における使用鋼材や製品の陸上輸送では、関係法令による積載許容限度や車両諸元を把握して鋼構造物を設計し、安全に輸送できる製品の積付けや固縛等の専門的知識が必要となります。今回の技術発表会では、引き続き本手引きが多くの設計者や輸送に係わる技術者の方々に活用され、鋼橋の安全な輸送の一助となればとの思いで安全輸送のための留意点についてご説明します。

特別講演会　講演者紹介

国土交通省　九州地方整備局　道路部　道路調査官　**新保　二郎**

講演テーマ　九州の道路に関する最近の話題について

【略歴】

S41年　鹿児島県鹿屋市生まれ
H 2年　建設省入省
H23年　道路部 交通対策課長補佐
H25年　道路部 道路計画第一課長補佐
H28年　福岡国道事務所 有明海沿岸道路出張所長
H31年　道路部 道路工事課長
R 3年　有明海沿岸国道事務所長
R 5年　現職

【講演概要】

今年度改正された「道路整備特別措置法」及び「国土強靱化基本法」の概要、令和6年度予算の要求方針など、最近の建設行政をとりまく大きな動きを解説するとともに、九州における広域道路ネットワーク計画の状況や、令和2年7月豪雨より流失した球磨川流域の10橋をはじめとする災害復旧状況について紹介する。

特別講演会　講演者紹介

西日本高速道路株式会社　技術本部
技術環境部　構造技術課　課長　**安里　俊則**

講演テーマ　関門橋の建設と50年後の今

【略歴】

S49年　大阪府大阪市生まれ
H 8年　日本道路公団　入社
H22年　西日本高速道路㈱　関西支社　建設事業部　構造技術課長代理
H24年　西日本高速道路㈱　関西支社　新名神大阪東事務所　技術課長
H28年　同　技術本部　技術環境部　構造技術課長代理
R 1年　同　関西支社　新名神大阪西事務所　副所長
R 2年　同　関西支社　保全サービス事業部　調査役・改築第二課長
R 5年　現職

【講演概要】

若戸大橋の技術を発展させ、本四架橋へつなげる使命感を掲げて建設が始まった関門橋は本年11月で開通50周年を迎えた。本講演では、メインケーブルや補剛桁に関する新技術へのチャレンジや、幾多の課題を解決した工夫について、当時現場でご活躍されたお二人の語りも交え紹介するとともに、関門橋の現況とリフレッシュ事業について概説する。

令和5年度
橋梁術発表会
九州地区
11月17日㈮
参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

https://www.jasbc.or.jp/

「技術発表会」の申し込みはこちら。